

公益充実資金の書類

本事業年度	西暦	2025	年度
	自	2025年4月1日	
	至	2026年3月31日	

1 公益充実活動ごとの内容など

明細	名称		活動内容				
1	<資産>		・基幹システム（検定運営業務システム）改修 利用開始後13年を経過した現システムは、ニーズに沿った検定実施に対応できておらず、こうした状況を改善するために現システムへの改修プログラム追加を目的とする。				
	検定運営システム改修		・漢検団体受検個別申込、個別決済システム構築 団体担当者への負荷軽減及び受検者個人の利便性を向上させるため、システム改修することを目的とする。				
			・CBT・オンライン受検システム統合改修 CBT・オンラインそれぞれのシステムを統合することでシステム運用・保守の効率化を達成する。				
	計画期間	目的設定	西暦	2017	年	4	月
		実施時期	西暦	2026	年	5	月
	所要額の算定根拠		オンライン受検システム統合改修はシステム会社による見積額のうちの12,000,000円を充当。				
			本事業年度		前事業年度		
所要額		12,000,000 円		15,000,000 円			
取崩額		3,000,000 円		0 円			
残高		12,000,000 円		15,000,000 円			
実施完了予定（年度）		2026 年度		2026 年度			

明細	名称		活動内容				
2	＜資産＞ 教育研究施設取得		漢字文化の文献や資料等が閲覧でき、講演会や研修会、あるいは生涯学習を支援する勉強会・学習会などに対応できる教育施設を東京にも整備して受益者拡大に資するとともに、併せて現在の東京事務所機能を移転する。①講演会、研修会のセミナールーム②漢字・日本語図書館③研究室、学習スペース④東京事務所事務室を有した施設とする。				
	計画期間	目的設定	西暦	2018	年	4	月
		実施期間	西暦	2027	年	3	月
	所要額の算定根拠		取得予定地（東京都内23区）周辺の中古ビル相場（不動産会社資料）約13億円及びその改装費用約2億円 （㎡あたりの見積単価130,000円（※）×想定床面積1,600㎡）の合計15億円 ※京都事務所新築時の㎡あたり単価の半額				
			本事業年度		前事業年度		
	所要額		1,500,000,000 円		1,500,000,000 円		
	取崩額		0 円		0 円		
残高		1,500,000,000 円		1,500,000,000 円			
実施完了予定（年度）		2026 年度		2025 年度			

2 公益充実資金の年度末明細

	本事業年度	前事業年度
期末残高	1,512,000,000 円	1,515,000,000 円
取崩額（合計額）	3,000,000 円	0 円
積立額（合計額）	0 円	0 円
積立限度額	1,512,000,000 円	1,515,000,000 円

以上